

感 染 症 週 報

島しょ保健所八丈出張所管内感染症発生動向調査

管内 第16週

(4月14日 ～ 4月20日)

東京都感染症週報 より抜粋

第15週

(4月7日 ～ 4月13日)

<http://idsc.tokyo-eiken.go.jp/weekly/>

東京都インフルエンザ情報

第29号

<http://idsc.tokyo-eiken.go.jp/assets/flu/2024/Vol29No29.pdf>



八丈島登龍峠

東京都島しょ保健所八丈出張所

〒100-1511

東京都八丈島八丈町三根1950番地2

TEL : 04996-2-1291

FAX : 04996-2-0632

<https://www.hokeniryo.metro.tokyo.lg.jp/tousyo/hachijou/index.html>

感 染 症 週 報

八丈出張所管内の感染症流行情報

(八丈町・青ヶ島村)

第16週 (4/14～4/20) 八丈出張所管内 COVID-19 1件

新型コロナウイルス感染症にご注意ください！

- ★八丈出張所管内で第16週に新型コロナウイルス (COVID-19) 報告が1件 (前週1件) ありました。
- ★東京都全体ではCOVID-19の定点当たりの報告数は第15週 (4/7～4/13) で0.08人 (前週1.20人) でした。
- ★東京都全体では百日咳の報告件数が第15週で105人 (前週59人) と増加傾向が見られます。

ひとくち感染症情報「百日咳」

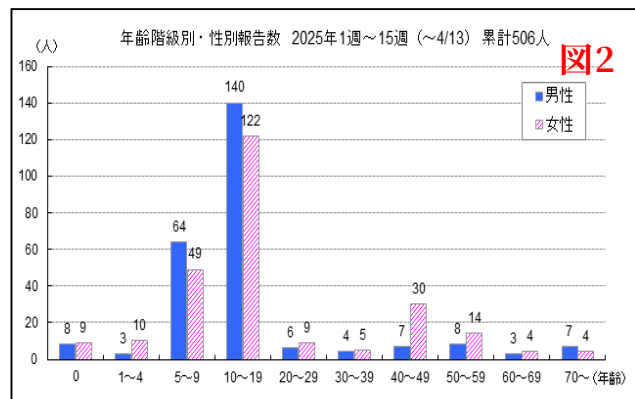
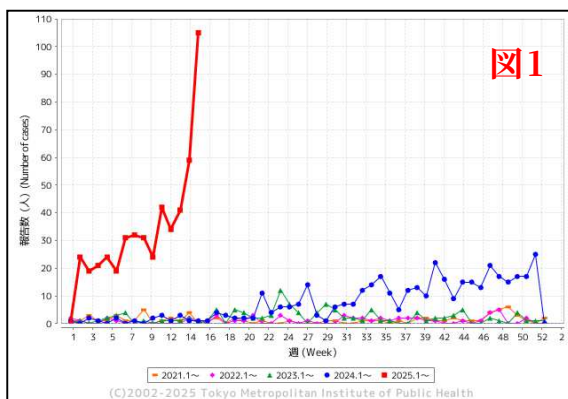


図1は、東京都の2021年1月から2025年4月までの過去5年間の百日咳届け出件数をグラフにしたものです。過去5年間で患者数が急増しており、今後の感染数増加に注意が必要です。

図2は、2025年1月から4月までの年齢階級別・性別報告数をグラフにしたものです。

乳幼児期の百日咳ワクチン接種後の免疫効果が弱くなった10代の感染が一番多くみられます。

1 百日咳とは

百日咳は、百日咳菌による感染症です。一年を通じて発生がみられますが、近年、乳幼児期の予防接種の効果が減弱した成人の発病が問題になっています。

2 原因と感染経路

病原体は百日咳菌 (*Bordetella pertussis*) です。

患者の咳やくしゃみなどのしぶきに含まれる細菌によって感染します (飛まつ感染)。

3 症状

7～10日程度の潜伏期間を経て、風邪症状がみられ、徐々に咳が強くなっていきます (カタル期: 約2週間)。その後、短い咳が連続的に起こり、咳の最後に大きく息を吸い込み、痰を出しておさまるという症状を繰り返します (痙咳期: 約2～3週間)。激しい咳は徐々におさまりますが、時折、発作性の咳がみられます (回復期: 2～3週間)。乳児の場合、無呼吸発作など重篤になることがあり、生後6か月未満では死に至る危険の高い疾患です。成人では、咳は長期間続きますが、比較的軽い症状で経過することが多く、受診・診断が遅れることがあります。

4 治療

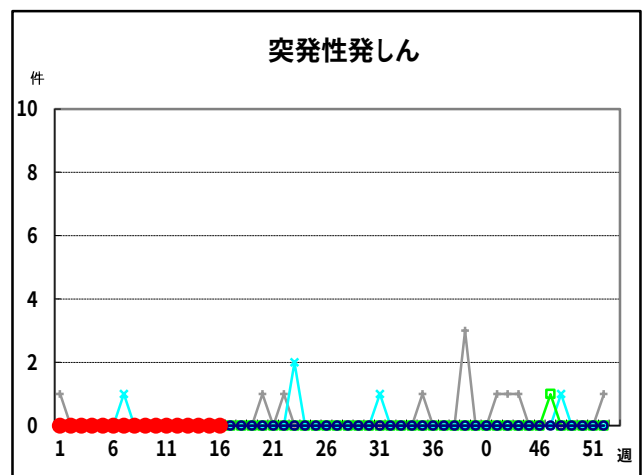
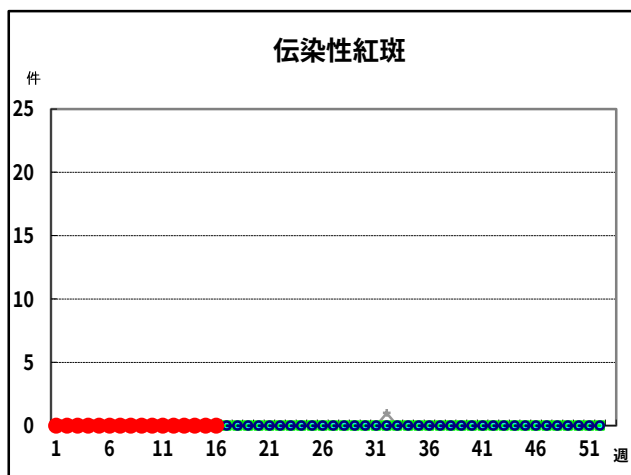
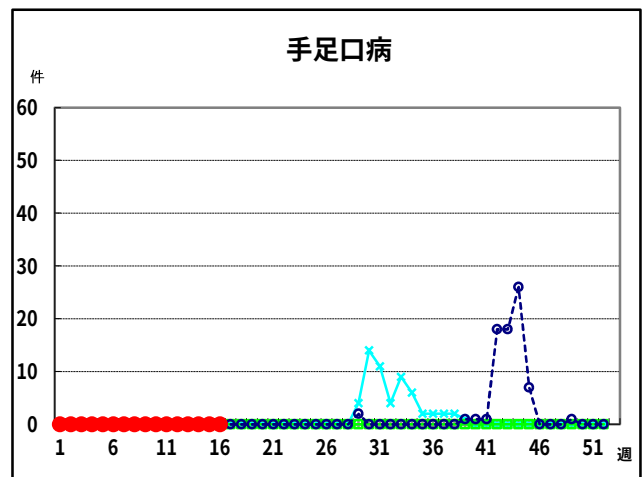
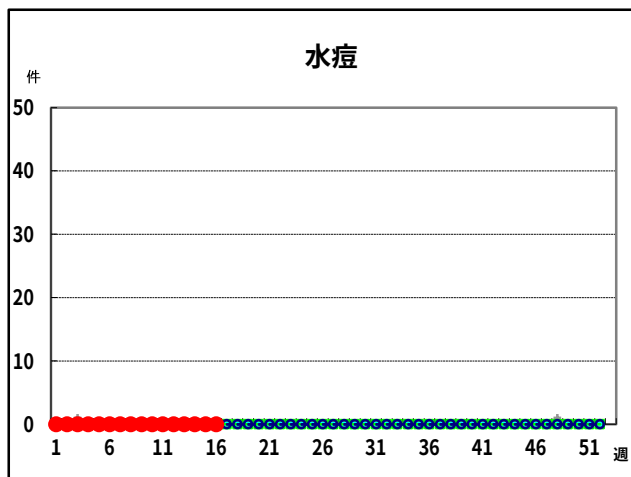
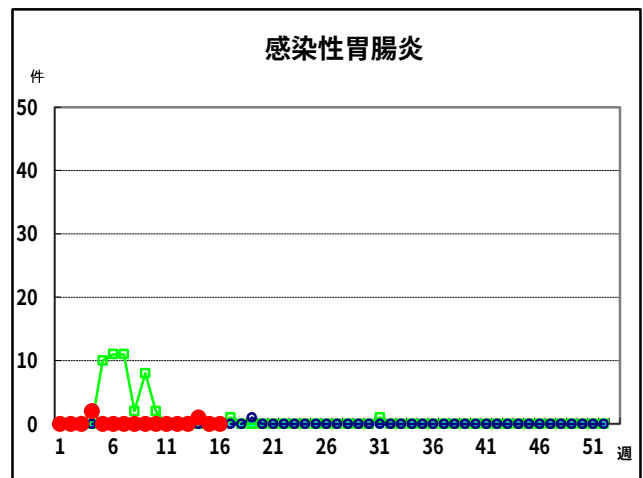
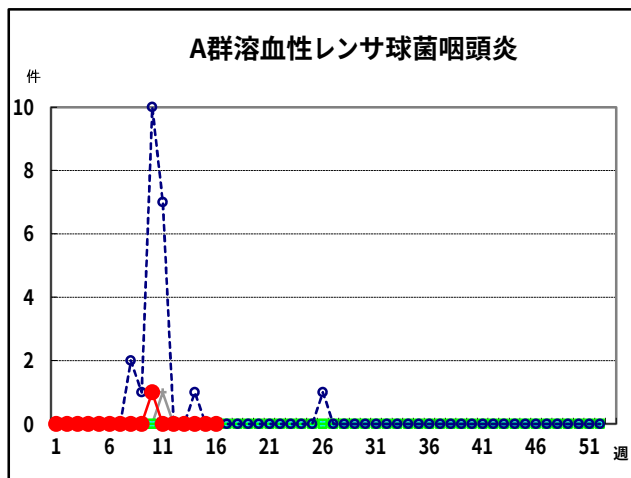
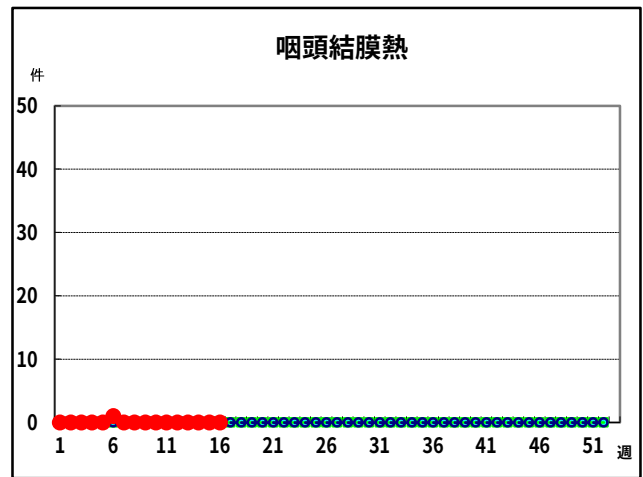
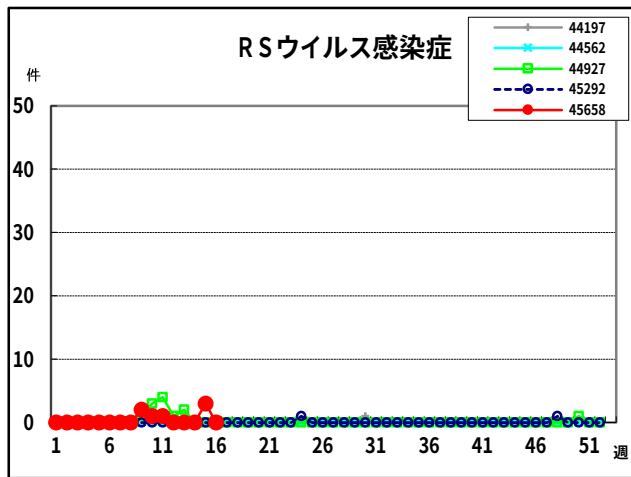
治療には、マクロライド系抗菌薬を使用します。

5 予防のポイント

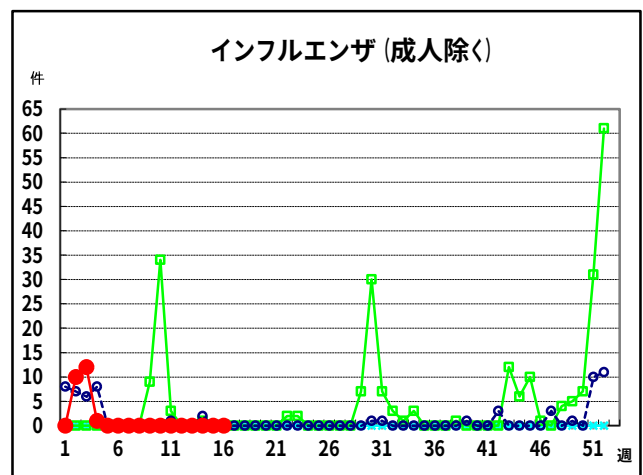
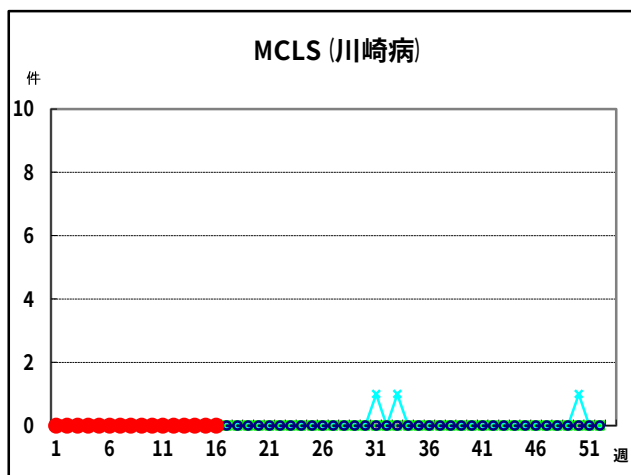
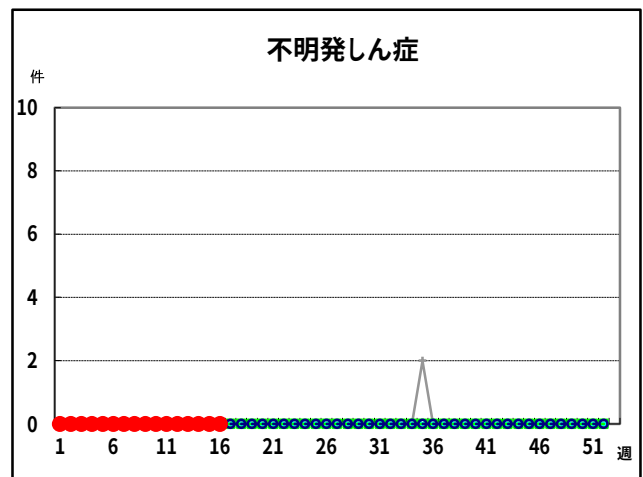
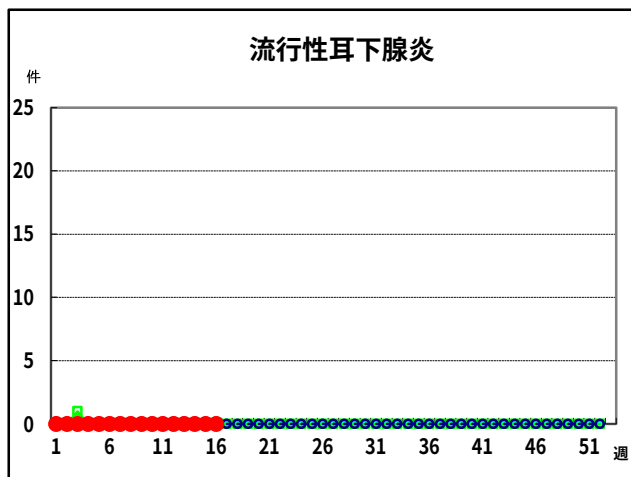
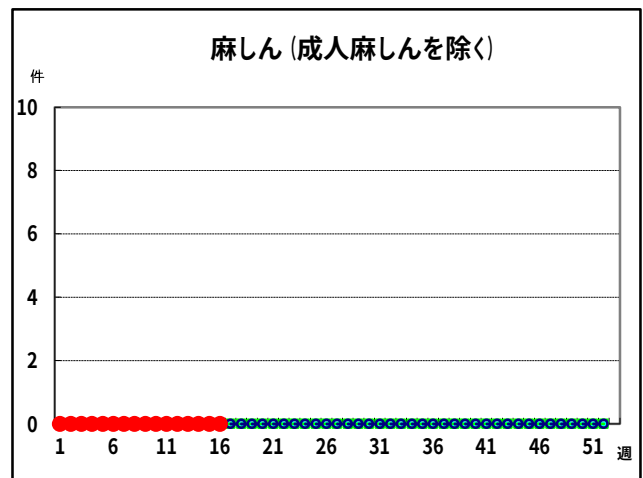
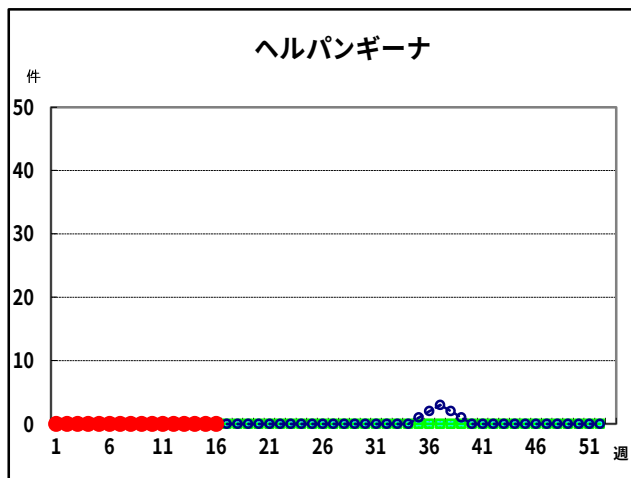
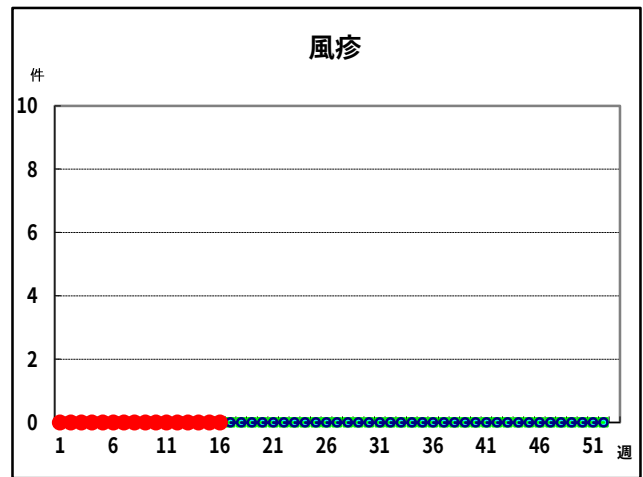
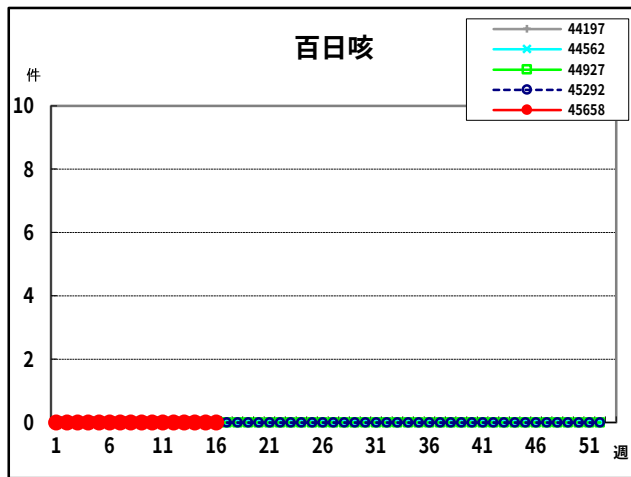
有効な予防法は予防接種です。予防接種法に基づく定期予防接種が行われています。予防接種による免疫効果の持続は5～10年程度です。

軽症でも菌の排出はあるため、予防接種をしていない新生児・乳児がいる場合は、感染に対する注意が必要です。

八丈出張所管内患者報告数 推移グラフ（No.1） 令和7年第16週



八丈出張所管内患者報告数 推移グラフ (No.2) 令和7年第16週



八丈出張所管内患者報告数 推移グラフ（No.3） 令和7年第16週

